

阿賀野川 えとこだより

aganogawa E-toko dayori



ここにあるすべてを、
かけがえのない「宝もん」へ。

「阿賀野川の支流・実(さね)川の、紅葉に彩られた溪谷」場所:実川溪谷(阿賀町豊美)

もくじ

インフォメーション	8
特集3 令和元年度パネル巡回展 ・明治・大正・昭和の日本、近代産業をめぐる光と影 &事前オンラインツアー「三川鉱山・草倉銅山めぐり」	6
特集2 阿賀野川エコミュージアムを 目指す流域再生フォーラム(第9回)	4
特集1 阿賀流域再発見連続ツアー講座2019レポート ・【第2回】水びたしの大地との闘い	2

阿賀上流域と下流域のつながりの「学び直し」を目指して

このたびは、令和元年台風第19号に伴う災害により、阿賀野川上流域などで被害を受けられました皆様へ、心よりお見舞いを申し上げます。被災された地域の日も早い復旧をお祈り申し上げます。

今年度3回にわたって展開された「阿賀流域再発見・連続ツアー」講座でも、下流域の平野部における「水との闘い」の壮絶な歴史を、様々な現場を巡って関係者の方々の話を聞く中から学びました。今後も関係者の方々のご尽力により、環境の整備が図られていくものと思われまふ。

このように、阿賀下流域の水の行方を学び直せば直すほど、その水源たる上流の山々へも自然と想像が広がります。かつては鉱山や化学工場など様々な近代産業が隆盛した土地でもあるため、その光と影も含めて関心をお持ちの方は、今号お知らせする流域再生フォーラムの事前オプションツアーとして催行する「三川鉱山・草倉銅山めぐり」にお申し込みいただければ幸いです。

下流域の水との闘い、上流域の近代産業から、阿賀流域の光と影を学ぶ

環境と人間のふれあい館主催イベント 水俣病講演会

イベント



ユージン・スミス
水俣に捧げた写真家の1100日

入場無料・事前申込不要

水俣病を世界に伝えた米国人写真家の故ユージン・スミスさんをモデルにした映画の制作が、ハリウッド俳優のジョニー・デップさん主演で進められ関心が高まる中、スミスさんの評伝を著したノンフィクション作家の方や、「もやい直し」に取り組む熊本の被害者の方を講師にお招きして、下記講演会を開催します。

日程 2019年11月24日(日)13:30～16:00(受付13:00～)



同時講演
正直に生きる
講師・緒方正実氏
(水俣市立水俣病資料館語り部)



水俣病写真・パネル展
協力:水俣市立水俣病資料館、坂東光彦氏、堀野秀人民
展示 11月17日(日)～12月1日(日)
9:30～16:30(月曜休館)

会場 新潟県立環境と人間のふれあい館・新潟水俣病資料館・



お問合せ

住所 新潟市北区前新田字新々園乙 364-7
TEL 025-387-1450 / FAX 025-387-1451
メール fureai@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ URL http://www.fureaikan.net/

第21回 新潟水俣環境賞作文コンクール

県内小・中学校の児童・生徒の皆さんへ

の作品を募集します!

募集 2019年10月1日～2020年3月30日
発表 2020年6月

新潟水俣病や新潟県内の自然について思ったこと、身の回りの環境について考えたことや体験して感じたことなどを書いてください。皆さんの応募をおまちしています。

- 例えば、「新潟水俣病」「住んでいる地域の環境」「新潟の自然(森林・川・湖沼・海と環境問題)」「総合学習等で取り組んでいる環境問題」「水の安全、食の安全」について、体験したことや気づいたこと、考えたことを書いてください。
- 作文の応募はA4版400字詰め原稿用紙で、小学校1・2年生は600字～800字、小学校3・4年生は800字～1000字、小学校5・6年生は1000字～1200字、中学校1・2・3年生は1200字～1600字です。
- 優秀賞者には表彰状と図書カード1万円分を贈ります。佳作者には表彰状と図書カード3千円分を贈ります。
- 応募していただいた方全員に参加賞を贈呈します。

お問合せ先 ●新潟水俣病被害者の会 TEL025-281-2466 / FAX025-281-8101
(作文の送付先 ●〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-2 勤労福祉会館 3 階 新潟水俣病被害者の会)

「阿賀野川えとこだプロジェクト」とは?

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」をつむぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

阿賀野川えとこだ! 憲章(事業理念)

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。(阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会)

編集後記

第29号はいかがでしたでしょうか?
今号はイベントなどのお知らせが満載で、毎号掲載している「阿賀の宝もん★発掘レポート」をお休みしましたが、次号からは再開します! 毎年度3月に開催している流域再生フォーラムでは、今回初めて事前オプションツアーを開催しますので、多数のご応募を心よりお待ちしております☆
2月発行予定の次号もご期待ください!



今号表紙の写真「紅葉の実川」

水量豊富な阿賀野川に流れ込む小さきまざまな支流。その中でも、最上流にブナの原生林が広がる支流・実川では、清らかで豊かな水が阿賀野川にもたらしています。写真は、紅葉で美しく彩られた実川の溪谷を撮影した一枚。

阿賀野川えとこだより 第29号

発行:新潟県(※環境省補助事業) 発行日:2019年11月2日
企画編集:一般社団法人あがのかわ環境学舎(〒959-2221 阿賀野市保田 3866-1)

TEL.&FAX. 0250-68-5424
aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川えとこだ!流域通信
https://aganogawa.info/



第2回 水びたしの大地との闘い
座学 9/7 (土) 10:50-14:30
ツアー 9/8 (日) 9:10-16:20
視察スポット一覧



▲新井郷川排水機場では、最大5機ある巨大な排水ポンプを24時間・365日稼働させて、阿賀野川右岸の排水を行っています。当日は、県新発田地域振興局の石井さんから解説いただきました。



▲かつてこの満願寺閘門を頻りに利用していた、砂利運搬船の往来は姿を消しました。ここでは、阿賀野川大改修工事の歴史などを学びました。



▲阿賀野川頭首工は農業用水を大量に取水して、阿賀野川右岸などの田畑を潤しているほか、水道用水や工業用水にも利用されています。当日は、県新発田地域振興局の柴田さんから解説いただきました。

18日(9/7)座学



▲午前には水の「ビュー福島湯」にて河川工事をテーマに、午後は「環境と人間のふれあい館」で農業土木をテーマに座学を行いました。

今回は河川工事と農業土木の歴史！

主に、国土交通省北陸地方整備局の阿賀野川河川事務所さんや、新潟県新発田地域振興局の農村整備部さんにご協力いただきながら、阿賀下流域を巡りました。

水の駅「ビュー福島湯」 佐藤安男氏
今回もバス内のガイドを担当して、阿賀流域の自然と解説していただきました。

1日目の豪華な朝食 (Delicious breakfast on the 1st day)

参加者の主な感想等

- 先人のたゆまぬ努力が現在につながっている。普段の景色にすごい歴史が秘められていた。(東区・50代)
- 今回の食事美味で労作でした。見事なコラボで阿賀野川名産オンパレードですね。(中央区・70代)
- 新井郷川排水機場の重要性がわかった。流れ着くゴミの多さにびっくり、川はきれいに。(北区・60代)
- 木津切れが阿賀野川大改修につながった。満願寺閘門・小阿賀樋門の重要性を認識！(中央区・70代)
- 頭首工を間近に見学して、川の力を感じた。田畑をうるおす阿賀野川の水に感謝。(江南区・60代)
- 安野川は長期間にわたる大変な工事だと思うが、安全・安心のためには必要だと感じた。(北区・70代)

阿賀野川
えとこた
プロジェクト

2019 阿賀流域再発見・連続ツアー講座「阿賀野川ものがたり」

主催●新潟県 共催●新潟市 後援●五泉市・阿賀野市・阿賀町 協力●水の駅「ビュー福島湯」 企画・運営●一般社団法人 水ががわ 環境学舎

水との闘い 水の恵み

阿賀流域の今昔、光と影を
一年かけて学び尽くす
壮大な連続ツアー
講座はじまる！

第2回：水びたしの大地との闘い
日時：令和元年9月7日(土) & 8日(日) 148名参加
場所：環境と人間のふれあい館 & 水の駅「ビュー福島湯」

開催レポート！

阿賀流域の歴史や文化、光と影を
壮大なスケールで学ぶ講座を展開
阿賀流域の歴史や文化、光と影を流
域の皆さんから学んでいただくため、
これまで毎年度開催されてきた地域
再発見講座を今年度は阿賀流域再
発見・連続ツアー講座とスケールアッ
プさせ、年間テーマを決めて年3回計
6日にわたって開催しました。

今年度の年間テーマは「水との闘い・
水の恵み」。その第2回目となる「水び
たしの大地との闘い」をテーマとした
座学やツアーが、さる9月7日(土)・8
日(日)に開催され、9月としては記録
的な暑さとなる中、2日間でのべ148名
の皆さんからご参加いただきました。

※本連続ツアー講座はすでにすべての回が終了しています。

第1回 大河によって形成された大地 座学 7/6 (土) 10:50-14:30 ツアー 7/7 (日) 9:10-16:20
第2回 水びたしの大地との闘い 座学 9/7 (土) 10:50-14:30 ツアー 9/8 (日) 9:10-16:20
第3回 水の恵みの今昔・その光と影 座学 10/26 (土) 10:50-14:30 ツアー 10/27 (日) 9:10-16:20



今回の豪華な朝食は、ケータリング！
今回の豪華な朝食は、目にも鮮やかなケータ
リングを提供する「watago FOOD & ETHICAL」
さん(新潟市江南区 亀田)にお願いしま
した。流域の旬の食材
をふんだんに使った、
お弁当やケータリン
グ形式のランチを、
お楽しみいた
だきました！

▶旧管神村出身の天野さん(左)と寺田さんのチーム
(写真：watago FOOD & ETHICAL 提供)

福島湯のほりに立つ、2つの環境学習施設も協力！

今年度から、福島湯のほりに拠点をかまへ、阿賀野川流域の水環境などにも詳しい2
つの施設が会場となって、知識と経験が豊富なスタッフがツアーガイドなども務めます。

